

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 関東東部

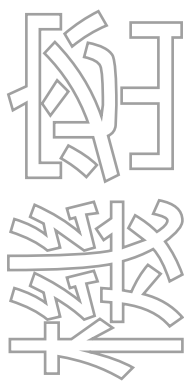
2016～2017 年度

第 3 回 評 議 会



日時： 2017 年 4 月 15 日(土) 13:30～16:00

場所： 東京 YMCA 東陽町センター:視聴覚室



目 次

2016-2017年度 関東東部 第3回評議会 出席者リスト	-----	1
2016-2017年度 関東東部 第3回評議会 次第	-----	3
ワイズソング, ワイズの信条, YMCAの歌	-----	4
2016-2017年度 関東東部 役員名・クラブ役員名簿	-----	5
2016-2017年度 活動主題	-----	6
2016-2017年度 関東東部 部長方針	-----	7
関東東部 部長報告	-----	8
〃 地域奉仕事業主査報告	-----	9
〃 会員増強事業主査報告	-----	10
〃 国際・交流事業主査報告	-----	11
〃 ユース事業主査報告	-----	12
〃 メネット事業主査報告	-----	14
東京江東クラブ活動報告	-----	15
千葉クラブ活動報告	-----	16
東京グリーンクラブ活動報告	-----	17
埼玉クラブ活動報告	-----	18
東京北クラブ活動報告	-----	19
所沢クラブ活動報告	-----	20
東京ひがしクラブ活動報告	-----	21
川越クラブ活動報告	-----	22
茨城クラブ活動報告	-----	23
東京ベイサイドクラブ活動報告	-----	24
所沢クラブCS活動報告 “2017年度狭山丘陵ウォーク”	-----	25
第3回関東東部評議会 第1号協議案	-----	26
〃 第2号協議案	-----	27
〃 第3号協議案	-----	28
〃 第1号審議案	-----	29
〃 第2号審議案	-----	30
〃 第3号審議案	-----	31

添付資料

“卓話奉仕者リスト”	-----	33
“第6回オープン・フォーラム・Y” の案内	-----	34
“第20回東日本区大会記念講演会” の案内	-----	35
2016-2017年度 東日本区役員および委員長等一覧	-----	36
2016-2017年度 東日本区行事予定表	-----	37
関東東部部則	-----	38
関東東部施行細則	-----	40
関東東部CS事業資金管理・運用規定	-----	41

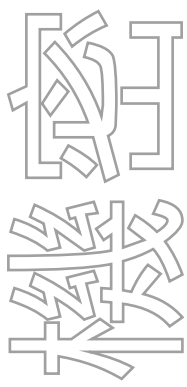
2016-2017 年度 関東東部クラブ役員・部役員一覧及び第3回評議会参加者リスト(1)

	クラブ名	役 職	名 前	評議会	兼任 及び 前職
1	茨城	関東東部部長	片山 啓	○	直前ク会長
2	東京江東	関東東部直前部長	鈴木 雅博	○	
3	千葉	関東東部次期部長	長尾 昌男	○	直前ク会計
4	茨城	関東東部書記	土谷 明男	○	直前ク副会長
5	茨城	関東東部会計	井上 恒久	○	直前ク会計
6	東京北	地域奉仕事業主査	村杉 克己	○	直前ク書記
7	東京グリーン	会員増強事業主査	柿沼 敬喜	○	直前ク会計
8	茨城	国際・交流事業主査	柳瀬久美子	○	直前ク書記
9	千葉	ユース事業主査	青木 一芳	○	直前ク書記
10	東京江東	メネット事業主査	島田 京子	○	
11	東京江東	会長	相川 達男	○	直前区地域奉仕事業主任
12		副会長	小松 重雄	○	直前部書記
13		副会長	酒向 裕司	○	直前部会計
14		書記	本間 剛	○	
15		会計	駿河 幸子	×	
16	千葉	会長	長尾 昌男	重複	次期部長
17		副会長	三村 澄江	×	
18		書記	青木 清子	○	直前会長
19		会計	徳永 浩一	○	
		次期書記	古屋 朝則	○	
20	東京グリーン	会長	浅見 隆夫	○	
21		副会長	西澤 紘一	×	直前副会長
22		書記	目黒 卓	×	
23		会計	平林 正子	○	
24	埼玉	会長	上松 寛茂	○	直前副会長
25		副会長	衣笠 輝夫	15時から	直前会長
26		書記	水無瀬隆造	○	直前ク書記
27		会計	小林 道明	×	直前ク会計
28	東京北	会長	辰馬 行男	○	直前副会長
29		副会長	村杉 克己	重複	地域奉仕事業主査
30		書記	村杉 克己	重複	地域奉仕事業主査
31		書記	金 秀男	×	直前ク書記
32		会計	磯部 成文	×	直前会長
33	所沢	会長	栗原 成晃	×	直前副会長
34		副会長	大澤 和子	×	直前会長
35		書記	東 裕二	×	
36		会計	小関 京子	○	直前ク会計
37	東京ひがし	会長	鮎澤 正和	○	直前会長
38		副会長	須田 哲史	×	直前副会長
39		書記	森村 実	×	直前ク書記
40		書記	金丸 満雄	○	直前会員事業主査
41		会計	野本多美子	×	直前ク会計

2016-2017年度 関東東部クラブ役員・部役員一覧及び第3回評議会参加者リスト(2)

	クラブ名	役職	名前	評議会	兼任及び前職
42	川越	会長	吉野勝三郎	×	直前会長
43		副会長	林 京二	×	直前副会長
44		副会長	松川 厚子	○	直前副会長
45		副会長	牛村 永代	×	
46		書記	森下千恵子	×	直前国際・交流事業主査
47		会計	山崎 純子	○	
48	茨城	会長	稲本 修一	×	
49		副会長	柴川 林也	×	直前副会長
50		副会長	柳瀬久美子	重複	国際・交流事業主査
51		書記	村田 淳	×	
52		書記	金子 和雄	×	
54		会計	井上 恒久	重複	関東東部会計
55		担当主事	和田 賢一	○	
56		担当主事補佐	大澤 篤人	×	
57	東京 ^ハ イト ^ト	会長	峯岸 友彦	×	直前副会長
58		副会長	藤原 宏隆	×	
59		書記	安齋 一徳	×	
60		書記	村田 拓彦	×	
61		書記	中道 幸子	×	直前ク書記
62		会計	岡田 光功	×	直前ク会計
63		広報	佐竹 誠	×	直前ク書記
64		担当主事	堀江 和広	×	
			工藤 大丈	13:30~ 14:30のみ	直前会長

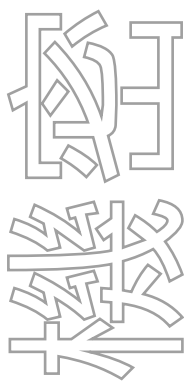
参加者合計 30



2016-2017 年度
関東東部 第 3 回評議会 次第

日時：2017 年 4 月 15 日（土）13:30～16:00
場所：東京 YMCA 東陽町センター「視聴覚室」

13:00	登録受付開始	受付	関東東部会計	井上 恒久
13:30	開会 開会点鐘 開会祈祷 ワイズソング ワイズの信条 開会挨拶 出席者紹介	司会	関東東部書記 関東東部部長 関東東部会計 関東東部部長 関東東部書記	土谷 明男 片山 啓 井上 恒久 全 員 全 員 片山 啓 土谷 明男
14:00	部長報告 各事業主査活動報告 各クラブ会長活動報告 休 憩		関東東部部長	片山 啓 各事業主査 各クラブ会長
15:00	議事 提出協議案・議案審議 議事終了	司会 議長	関東東部書記 関東東部部長	土谷 明男 片山 啓
15:45	連絡事項 YMCA の歌		関東東部書記	土谷 明男 全 員
15:50	閉会点鐘 記念撮影		関東東部部長	片山 啓



WIZUSONG「いざ立て」

いざ立て 心あつくし
手を挙げ 誓いあらたに
われらの モットー守る
ふさわし その名ワイズメン
絶えせず めあて望み
この身を 捧げ尽くさん

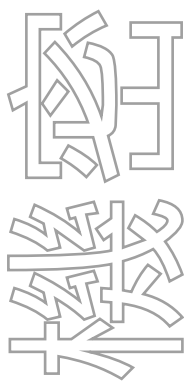
歌えば 心ひとつに
ともがき ひろがりゆきて
遠きも 近きも皆
捧げて 立つやワイズメン
栄えと 誉れ豊か
まことは 胸にあふれん

ワイズの信条

- 一. 自分を愛するように、隣人を愛そう
- 一. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 一. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう
- 一. 義務をはたしてこそ、権利が生ずることをさとう
- 一. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

YMCAの歌

若人の としえの YMCA	あつき祈りは 望みにもえて われらまた	百年の歴史をつづる 栄えあり こぞりて起たん
開拓の 地の果ての YMCA	み旨かしこみ 国々までも われらまた	福音のみ旗は進む 光あり 勇みて行かん
民族の もろともに YMCA	へだて取り去り 心合わせて われらまた	手をつなぎ一つとなりぬ 実りあり 誓いて勝たん



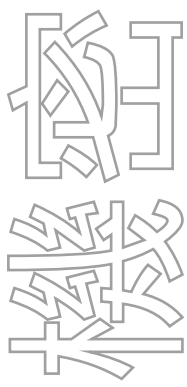
**2016-2017 年度
関東東部役員・クラブ役員名簿**

関東東部役員一覧

関東東部クラブ役員一覧

役職	名前	クラブ名
部長	片山 啓	茨城
直前部長	鈴木 雅博	東京江東
次期部長	長尾 昌男	千葉
書記	土谷 明男	茨城
会計	井上 恒久	茨城
地域奉仕事業主査	村杉 克己	東京北
会員増強事業主査	柿沼 敬喜	東京グリーン
国際・交流事業主査	柳瀬久美子	茨城
ユース事業主査	青木 一芳	千葉
メネット事業主査	島田 京子	東京江東

クラブ名	会長	副会長	書記	会計(広報)
東京江東	相川 達男	小松 重雄 酒向 裕司	本間 剛	駿河 幸子
千葉	長尾 昌男	三村 澄江	青木 清子	徳永 浩一
東京グリーン	浅見 隆夫	西澤 紘一	目黒 卓	平林 正子
埼玉	上松 寛茂	衣笠 輝夫	水無瀬隆造	小林 道明
東京北	辰馬 行男	村杉克己	村杉克己 金 秀男	磯部成文
所沢	栗原 成晃	大澤 和子	東 裕二	小関 京子
東京ひがし	鮎澤 正和	須田 哲史	森村 実 金丸 満雄	野本多美子
川越	吉野勝三郎	林 京三 松川 厚子 牛村 永代	森下千恵子	山崎 純子
茨城	稲本 修一	柴川 林也 柳瀬久美子	村田 淳 金子 和雄	井上 恒久
東京ベイサイド	峯岸 友彦	藤原 宏隆	安齋 一徳 村田 拓彦 中道 幸子	岡田 光功 (佐竹 誠)



2016～2017 年度 活動主題

国際会長 **Joan Wilson** (カナダ)

主題 “Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日から始まる」

スローガン

“Together We Can Do So Much More”

「手を取り合えば、もっと多くのことができる」

アジア地域会長 **Tung Ming Hsiao** (台湾)

主題 “Respect Y’s Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

スローガン

“Solidify Y Men Family for Better World”

「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

東日本区理事 **利根川 恵子(川越)**

理事主題：「明日に向かって、今日動こう」

(For the Future, Act Today!)

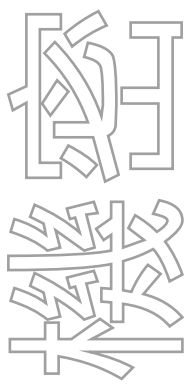
スローガン：「手を取り合って、今、行動！」

(Together, Let’s Roll Now!)

関東東部部長 **片山 啓(茨城)**

主題 「組み合わせられ、結び合わされて、

造り上げられてゆく」



2016～2017 年度 関東東部 部長方針

関東東部 部長:片山 啓(茨城)

1. 部長主題 「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

2. 活動方針

クラブ間の協力体制を確立し、クラブ間の連携と協働を進め、クラブの活性化と成長を図ると共に、各クラブと関東東部の連携も深め、関東東部全体の発展を目指す。

同時に YMCA との協力関係を見直し、具体的な協力関係強化に向けた施策の検討と連携強化に努める。そして、これらを 20 周年記念部会に組み込み、実施する。

以上の活動方針を理事方針の重点 4 項目と共に実行し、関東東部として理事を積極的に支える。

3. 理事方針の重点目標から見た私たちの目標

(1) クラブ拡張と会員増強

- ・会員数 1,000 名突破を目指そう
 - 現在 950 名なので、関東東部は 15 名以上の純増を目指す。
- ・新しいクラブを少なくとも 2 クラブ作ろう
 - 今年度は難しいが中長期的な視点で検討を進める。
- ・各クラブは退会者ゼロ、純増 2 名を目指そう
 - 各クラブへの負担が大きいため、1 項目目の部の目標を優先して実施する。

(2) 部の強化・活性化

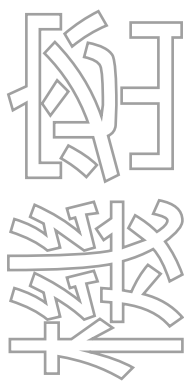
- ・役員（部長、書記、会計、各事業主査）の働きを強めるため、部内の研修を充実しよう
 - 部と各クラブ、及び各クラブ間の連携・連動の強化を進める。
具体的には、部長訪問や記念部会の活用、及びHPの有効活用やメーリングリストの作成し活用する。
- ・部長選出方法を見直そう
 - 既に改定済みである。スムーズな移行を実施する。
- ・部長公式訪問、部会の充実を図ろう
 - 公式訪問は、各主査と連携して挨拶だけではなく、部会へのPRと理解、話し合いの時間を頂いて各クラブの課題や要望などを聞く時間をもつ。
部会前の 8 月～9 月で全てのクラブを回り目標に沿った活動を推進する。
部会は、20 周年記念部会として特別プログラムを組み充実した会を成功させる。

(3) YMCA との協働の強化

- ・ワイズメンのYMCA会員率 100%を目指そう
 - 各クラブで推進して頂き、評議会と年度末に状況報告をして頂く。
- ・YMCA と「協力関係の原則」を結ぶなど、相互の協力関係を確認しよう
 - 各クラブで相互協力について検討をして頂き、評議会で報告をして頂く。
また、部会においても、YMCA の課題や今後の展望について共有し、今後の協力体制のあり方を模索する。

(4) スリムな区の運営

- ・部の強化・活性化と財政状況改善のため、区運営の 3S (Simple Slim Speed) を促進しよう
 - 部の強化・活性化は上記の方策を実施することで可能だと判断できる。関東東部の財政状況は健全であるが、部費の有効活用を考える。
- ・部、クラブでも、3S (Simple Slim Speed) の観点から運営を見直そう
 - 部としては、各クラブとの連携の強化が 3S に繋がると考えている。各クラブでも 3S の観点から目標を立てて頂く。



2016～2017 年度 関東東部 部長活動報告

関東東部部長 片山 啓 (茨城)

1. 部長主題

「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

2. 活動報告

1) ユース例会の実施

青木一芳ユース事業主査により、各クラブで「ユース例会」を開催し、ユース事業理解を図った。

2) EMC 委員会の開催

柿沼敬喜会員増強主査により、3回のEMC委員会を開催し、多くの意見交換を行った。特に、第3回EMC委員会では、以下に示すように関東東部全クラブから17名の参加があり活発な意見交換があった。

日 時:2017年4月1日(土)15:00～17:00、場 所:東京 YMCA 東陽町センター218号室

参加者:片山啓関東東部部長、柿沼敬喜会員増強主査、藤井寛敏、相川達男・小松重雄(江東区)、長尾昌男(千葉)、浅見隆夫・佐野守(グリーン)、上松寛茂(埼玉)、村杉克巳(北)、大澤和子(所沢)、金丸満雄(ひがし)、柳瀬久美子(茨城)、峯岸友彦・小林正輝(ペイサド)、吉野勝三郎、松川厚子(川越)。

3) クラブ間やクラブと部の連携強化

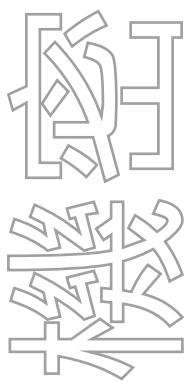
- ・各クラブの会長と共にクラブ役員に向けて、行事予定や提出物期日の確認連絡を繰り返した。
- ・11/26 ネットの集いには 58 名中で関東東部から25名参加があった。
- ・2/4-5 東西日本区交流会には 39 名が関東東部より参加。千葉クラブと大阪高槻クラブとDBC 締結式が行われた。
- ・東新部やあずさ部と合同 EMC シンポジウム の開催について協議(結果合同とはせず実施)

3. 運営上の課題

- ・EMC 委員会による議論は進めているが、今期の会員維持も厳しい状況にある。
- ・昨年の後半から年始まで海外への出張が続き、加えて部書記の交代なども重なり、部内のメーリングリスト(K_yscom)や関東東部の HP、及び卓話リスト等の整備が遅れるなど部の動きが停滞した。

4. 今後の活動計画

- ・EMC 委員会の検討・合意事項の部内での共有と次期以降にも継続できるように整備を進める。
- ・関東東部版のワイズドットコム(K_yscom)の実施と卓話リスト(添付参照)の作成。
- ・関東東部の HP の修正(各クラブの紹介ページやクラブ予定カレンダー増設等を継続整備する)
- ・東日本区大会(6/3～4、添付参照)への協力を推進する。
- ・クラブ、部、及び区の運営に対するアンケートを実施する。
- ・部報に、今年度の活動や議論についてまとめ、記録として残す(8月頃、メール等により配信と次期の部会にて配布を予定)。



2016-2017 年度地域奉仕事業活動報告

地域奉仕事業主査 村杉克己(東京北)

1. 今年度の活動主題

「EMCに繋がる地域奉仕活動の展開を」

2. 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

- ・「新春ゴミ拾い！ドリーム・ジャンボ・ゴミ拾い」
しののめYMCAこども園の、園児・父母、100名を超える参加でした。
2017年1月14日(土)実施 東京ベイサイドクラブ
- ・「狭山丘陵ウォーク～トトロの森でお花見しましょう」
2017年4月8日(土)実施 所沢クラブ
* 関東東部CS事業資金を支給。

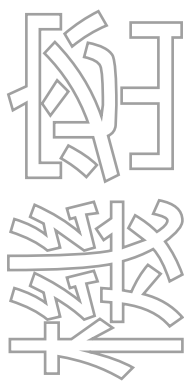
3. 主査の活動における問題点と対策

4. クラブや部に対する要望等

5. 今後の活動予定等のPR、その他

*2016-2017 東日本区「みんなのCS写真コンテスト」

- 1: 応募期間4月1日～4月30日 「一クラブ5枚まで」
- 2: 2016年5月～2017年4月末までに撮影された**CS活動**を題材とした写真。
- 3: A4光沢紙、またはプリントで提出の場合は六つ切りをA4用紙に貼り付けて、5月15日までに東日本区事務所にお送りください。
- 4: 審査、表彰～東日本区大会で作品を展示し、区大会参加者の投票、別途選出の審査員による評価を加味し発表・表彰します。



2016-2017 年度会員増強事業活動報告

会員増強事業主査 柿沼敬喜（東京グリーン）

1. 今年度の活動主題

「一期一会を大切に、ワイズの輪を広げよう」

2. 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

関東東部 10 クラブとの EMC 事業合同委員会を開催した。

第 1 回：9 月 3 日・各クラブの今期 EMC 活動計画の発表と課題の抽出

第 2 回：11 月 9 日・抽出した課題の絞り込みを行い、部としての方向性を確認。

第 3 回：4 月 1 日・各クラブの実施報告と次期への引継ぎ事項等の発表

第 2 回合同委員会にて確認された今後の方向性に則り、EMC 活動の実行に当たっての部・クラブ・会員個人各々の役割分担（案）を第 3 回の協議内容を基に策定した。

○会員増強について

1、会員個人としては、日常より危機感と強い意識を持って行動し、候補者との初めの接点は個人的なつながりから生ずることが多いので常に候補者探しに目配り、気配りを怠らぬこと。

2、クラブとしては、ゲスト、卓話者を歓待するはもとより「楽しい例会・魅力あるプログラム作り」を心掛ける。また、あらゆる機会にワイズの PR に努めること。

○維持啓発活動について

クラブとして、新会員の入会時には必ずオリエンテーションを行うと共に入会後のフォローは紹介者なる会員が責任をもって行っていくこと。

○クラブ拡張活動について

部とクラブが一体となって、まずは、狙いの地区（柏・浦安）のキーマン探しに YMC A の各拠点への働き掛けを行うと共にワイズメンバー、YMC A 会員等にも広く情報収集を求めていくこと。

3. 主査の活動における問題点と対策

部としての今後の方向性の確認は出来たが、実行に向っての具体的な煮詰めが不十分。→やるべき具体策について 5 W 1 H 手法等を駆使して煮詰めていく。

4. クラブや部に対する要望等

関東東部 EMC 合同委員会の開催について次期も継続を望む。

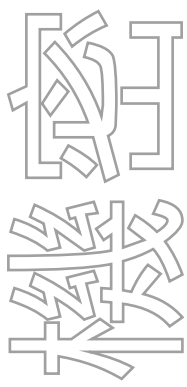
5. 今後の活動予定等の PR、その他

EMC 活動のツールとして各クラブ別に着せ替え式パンフレット案を検討する。

・基本パンフレットを作成し、各クラブはクラブ名、写真等を入れ替えるのみとする。

・次期のクラブ予算にパンフレット作成費を計上して頂きたい。（約 30,000 円/300 部）

・次期の部予算作成時にクラブパンフレット作成補助金の検討をして頂きたい。



2016-2017 年度 国際・交流事業活動報告

国際・交流事業主査 柳瀬久美子（茨城）

1. 今年度の活動主題

「未来を見つめて、今行動し、飛躍、そして楽しもう」

2. 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

東日本区会計担当より全てのクラブ会長宛てに「各種献金のお願い」が送られました。その中で「TOF 献金」について、2016～17年度の使い方を、ワイズメンズ国際協会から発表された8件を選び、英語の原文と和約を添えて各クラブにお知らせし、引き続き献金に理解と協力をお願いした。

使用済み切手収集： 送料削減を目標に今期は、第2回評議会と東西交流会に切手を持参、納入して頂いた。東西交流会後、その日のうちに太田主任が（有）フクオに納入する事が出来た。`無から有を`との理念を理解され収集を行っている各クラブに感謝いたします。

3. 主査の活動における問題点と対策

茨城クラブ所属の為、各クラブ訪問が時間的に困難な状況があった。

4. クラブや部に対する要望等

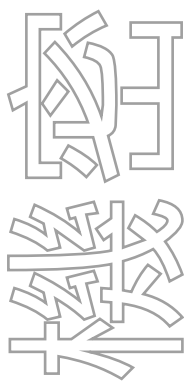
東西交流会において、千葉クラブと大阪高槻クラブのDBC終結式が行われた。

又、DBC仲間や、新しいDBCを求めて、情報交換や親睦の場が与えられ良き交流が実現した。

各クラブにおいても、DBCを視野に入れた活動を検討して頂きたい。

5. 今後の活動予定等のPR、その他

6月に開催される第20回東日本区大会等で国際・交流の意義、素晴らしさをアピールしたい。



2016-2017 年度 ユース事業活動報告

ユース事業主査 青木一芳 (千葉)

1. 今年度の活動主題

関東東部の各クラブは、2016-2017 年度の例会のうち少なくとも 1 回はテーマをユース事業に当てる。内容は各クラブでユース事業委員長を中心にして協議・決定する。

2. 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

関東東部では、10 のクラブそれぞれが 2016 年 10 月から翌 17 年 3 月までのどれかの例会を「ユース例会」と銘打って、ユース事業への認識・関心を高める機会とした。具体的な内容は次のとおり(開催順)。

- 10 月 7 日 **茨城クラブ** 台北 IYC 参加のユース末永実花さんの報告を聞く
- 10 月 8 日 **千葉クラブ** リーダーズフォーラム参加のユース関口優子さんの報告を聞く
- 11 月 10 日 **東京ひがしクラブ** 大澤和子氏(所沢)列席
東裕二氏(所沢)の「夢ハウス食堂について」の卓話により子供の居場所の問題を学ぶ
- 11 月 16 日 **東京グリーンクラブ** 壇上氏(立教大学 Y)・大崎氏(一ツ橋大学 Y)列席
浅羽俊一郎氏(東京山手)の「ユース事業について」の卓話により本事業を展望する
- 11 月 17 日 **東京江東クラブ** リーダー9名・他クラブビジター・江東幼稚園保護者列席
リーダーズフォーラム参加のユース粉川美乃里さん・篠田樹乃さんの報告と全国リーダー研修会参加のユース大木さんの報告を聞く
- 11 月 26 日 **東京ベイサイドクラブ** 衣笠輝夫氏(埼玉)列席
石川昌紀氏(東京家政大学)の卓話「若者の自分探しと年長者の関わり」を聞く
- 11 月 28 日 **埼玉クラブ**
リーダーズフォーラム参加のユース木下遥七さん・立岡壮太君の報告を聞く
- 12 月 17 日 **川越クラブ** リーダーズフォーラム参加のユース木下遥七さんの報告を聞く
- 1 月 14 日 **所沢クラブ** リーダー10名列席(うち2名の成人式を祝う)
全国リーダー研修会参加のユース近山さん・佐藤さん・島田さん・岩崎さんの報告とリーダーズフォーラム参加ユース立岡壮太君・太田崇仁君・木下遥七さんの報告を聞く
- 3 月 15 日 **東京北クラブ**
清泉女子大学 Y ユース初村有希子さん・越智文香さんのインドスタディーツアーの報告と学 Y の年間活動の報告を聞く

各クラブはこのユース例会を企画・実施することを通じ、ユースと触れ合い、ユース事業の意義を実感できたものと思う。(私はこれらすべての例会に列席し、このことを確認した。)

◎各クラブ会長様 ユース例会を開くに当たって発生した経費(講師謝礼など)を4月15日までにお知らせください。その一部(上限 3,000 円)をユース事業費として区に申請します。

(注) IYC はインターナショナルユースコンボケーション(国際大会併催のユースの集い)
リーダーズフォーラムの正式名はユースボランティアリーダーズフォーラム(YVLF)
参考写真(次ページに各ユース例会の情景を示す)



茨城クラブ IYC 報告



東京ベイサイドクラブ 卓話「若者の自分探しと年長者の関わり」



千葉クラブ YVLF 報告



埼玉クラブ YVLF 報告



東京ひがしクラブ 卓話「夢ハウス食堂」



川越クラブ YVLF 報告



東京グリーンクラブ 卓話「ユース事業」



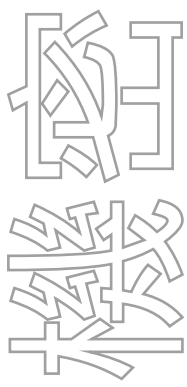
所沢クラブ 全リー研と YVLF 報告



東京江東クラブ YVLF と全リー研報告



東京北クラブ インスタディーツアー報告



2016 -2017 年度メネット事業活動報告

メネット事業主査 島田京子（東京江東）

1. 今年度の活動主題

「メネット会の存続」という主題を前年度から引き継ぎ、今後のメネットの存在意義、活動について考える。

2. 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

- ・関東東部内の現時点でのメネット実数を把握するため、クラブ会長を通じて調査した。
- ・部会においてメネットの今後の活動の仕方等について話し合うことが出来た。残念ながら減少するメネットの危機回避、問題解決には至らなかった。
- ・埼玉クラブの CS 活動の歌声集会には多くの女性が毎月集っているとお話を受け、歌声集会に伺い、「東日本区ワイズメネットのつどい」のアピールとメネット活動についての説明をさせていただいた。
- ・11月26日に「東日本区ワイズメネットのつどい」をYMCA 東陽町センターにおいて開催、58名の参加があり、関東東部からも25名の参加があった。

3. 主査の活動における問題点と対策

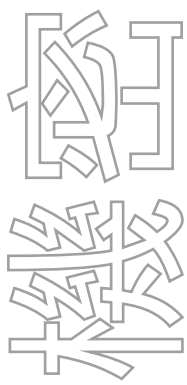
- ・女性メンが増え、メネットからメンバーへなられた方も多く、以前のようにメネット会長会や合同メネット例会などもなく、相互の繋がりや活動内容は薄く、故に対策を練るまでには至らず、主査としても淡々とこなすしかなかった。
- ・東日本区メネット委員会においても主査委員は2部（北東部と関東東部）だけとなり、主査選出も難しくなっているように感じる。

4. クラブや部に対する要望等

- ・メネット会がなくとも、メネットとして国際プロジェクトや国内プロジェクトへの献金等は出来る範囲で継続していただきたい。
- ・メネット個人としてでも参加できることはあるので、メネット関連の連絡事項はクラブ会長から必ずお伝え頂きたい。

5. 今後の活動予定等の PR、その他

- ・第20回東日本区大会でメネットアワー開催（6月3日）



2016 -2017 年度 東京江東クラブ活動報告

会長 相川 達男

1. 会長主題

「今一度足元を固めよう！そこからステップアップ！」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

本年度は「今一度足元を固めよう！」と言う事で、当クラブの本拠地である江東センターに係る行事、イベントの支援、又地元の地域に根付いた地域奉仕を今一度再確認することに力を入れて活動しました。例年行っている物としては、江東幼稚園のプール設置、解体の応援、幼稚園園庭遊具、園舎の補修ワークを幼稚園父兄の方々と行いました。又、ワイズカップサッカー大会に於いて賞品やトン汁サービスの提供を行いました。

そして、本年度の新たな取り組みとして江東センターに係る子供たち（プログラム参加者、幼稚園園児）とその父兄を対象にYMCA との協業としてファミリースキーキャンプを開催し約 40 名の参加者を募りました。江東センターを中心とした活動に注力しYMCA 共々活気ある活動が出来ました。

3. クラブにおける問題点と対策

メンバーの平均年齢の上昇とそれを緩和する若手入会者の獲得に苦慮していること。実労出来るメンバーが限定されていること。解決策はクラブに課せられる様々なワークを楽しくこなせる環境作りに努め、それを対外的にもアピールし新入会員を募る。

例会への出席率を向上させるために、メンバー同士のバディー制度を導入。例会への出席を促したり、バディー同志声を掛け合う事によりメンバーのワイズへの関心を高める。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

在籍 25 名中会員登録者 21 名。登録率 84%

2) YMCA との協働に関する活動報告

上記報告にも記したとおり、各種のYMCA幼稚園へのサポート、ワイズカップサッカーの開催、ファミリースキーキャンプの開催、ワイズポテトの販売など当クラブの活動はYMCA との協働が多く強い結びつきを維持しています。

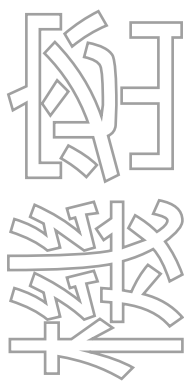
5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

各種の連絡はクラブ内のメールリンクを利用し迅速に行う体制が整っています。

各月末の役員会で、翌月、翌々月の行事やクラブの事に関してした打ち合わせを行い、第 1 週の第一例会で各メンバーと協議、第 3 週の本例会はその下準備に伴い実りあるものとする。

6. その他

特になし。



2016-2017 年度 千葉クラブ活動報告

会長 長尾 昌男

1. 会長主題

「 みんなで、つなげよう 」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

- (1) 新規会員の獲得 1月半年報 2名減の 11名。1月卓話に常議員会議長にお願いしたがまだ会員獲得に繋がっていないが、7月には廣田総主事の転入会が確定している。
- (2) 千葉 YMCA の活動のサポート
 - ① 「市民クリスマス in 千葉」への支援(12/10)
 - ② 船橋市内の小中からの要請による「障がい者理解体験教室」への助勤(11月以降 9校)
 - ③ 「ちば市国際ふれあいフェスティバル」への出店と支援(2/12)
 - ④ 「千葉Y-ケソン市Y交流プログラム」への金銭・行事支援(2/24~3/2)
- (3) 次期ホストクラブとしての準備 9月30日(土) 部会を開催する予定の「千葉市美術館」で、下見を兼ね「千葉クラブ5月例会(45周年記念例会)」の開催を予定(5/13)

3. クラブにおける問題点と対策

<問題点> 会員の減少と高齢化

<対策> ・若い会員の獲得 千葉 YMCA の常議員、千葉 YMCA リーダーOBへの近づき

・ランチ会(会員フォロー) 夜の例会が無理な会員に、誕生日祝、結婚記念日祝を

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状 100% (10名 担当主事は含)

2) YMCA との協働に関する活動報告

◎千葉 YMCA の活動やPRで、ワイズの出番と思える時に出動する。

①~④ 上記2-(1) 千葉 YMCA の活動のサポートの ①~④ と同じ⑤ 千葉市中央区役所玄関先の花壇管理(通年) <下の写真 右>

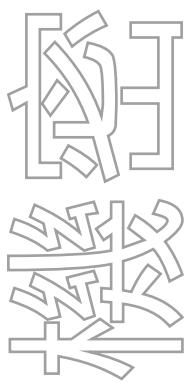
5. クラブの3S (Simple Slim Speed) に関する対応

・例会日(第2土曜)の例会前後に、約1時間の事務例会を行っている。

6. その他

・2017.2.5 大阪高槻クラブとDBC締結(第2回東西日本区交流会 東山荘にて) <下の写真 左>





2016-2017 年度 東京グリーン クラブ活動報告

会長 浅見 隆夫

1. 会長主題

「親睦なくして、奉仕はない」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

親睦はグリーンクラブの得意とする分野であり、12月のクリスマス例会はスナックを貸し切りゲスト・ビジターをお迎えし、プロの歌手によるオールディーズで大いに盛り上がった。

1月新年例会は東京北クラブと合同例会を開催、古今亭寿輔師匠の落語を大勢のゲスト・ビジターと楽しみました。

3. クラブにおける問題点と対策

これらの機会をEMCに繋げるべく活動を展開したが、未だ成果に繋がっていない。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

前回と変わらず 17名中 13名 76%

2) YMCA との協働に関する活動報告

◎12月23日東陽町クリスマスオープンハウスに恒例のフランクフルト・甘酒を販売。メネットはバザーを出店参加。

◎グランチャ東雲秋祭りに提灯協力

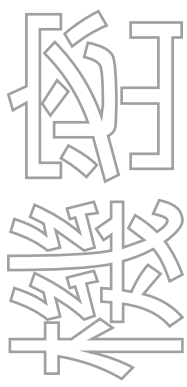
◎グランチャ東雲新スポーツ「アンダーゴルフ」開催

◎YMCA 午餐会に参加

5. クラブの3S (Simple Slim Speed) に関する対応

従来 of クラブ運営に変更はない

6. その他



2015-2016 年度 埼玉クラブ活動報告

会長 上松 寛茂

1. 会長主題

「 着実に前進を 」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

- ① YMCA を軸に世界的視野に立った歩みをしていく
- ② YMCA へのさらなる貢献策を探る
- ③ CS 活動に知恵を出し、メンバーも増やして新たな発展を目指す

3. クラブにおける問題点と対策

少数人数、高齢化、女性会員がゼロというマイナス点をプラスに変えるために、当クラブの CS 活動の中心となっている「心のふるさと歌声集会」参加者を勧誘するなどワイズに取り込む工夫を考えたい。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

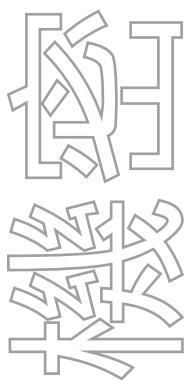
当クラブ員は全員が YMCA の会員であり、さらなる関係を深める努力をしていきたい。

2) YMCA との協働に関する活動報告

心のふるさと歌声集会や PC 教室、チャリティーコンサートはワイズが全面的に協力体制を執っている。毎月 1 日の埼玉 YMCA 早天祈祷会もワイズが率先してプログラミングに関与している。

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

6. その他



2016-2017 年度 東京北クラブ活動報告

会長 辰馬 行男

1. 会長主題

「義務を果たし、実りあるワイズ活動を、そして楽しく」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

- 1) 会員増強は少ない会員数でクラブ活動をする事だけで会員増強まで及ばない。
- 2) 例会、親睦を楽しく
 - 1月「東京北クラブ・東京グリーンクラブ新春合同例会」落語堪能
 - 2月「野菜作りを楽しもうー緑豊かな街づくりをめざしてー」藤田 智氏
 - 3月「清泉 YMCA 活動報告・インドスタディーツアー報告」清泉 YMCA
 - 4月「興望館の今」～興望館を会場に
 - 5月「お花茶屋から石巻へ」関喜一郎氏（石巻広域クラブ）
親睦1月新春浅草歌舞伎」鑑賞 6名参加
- 3) 興望館との協働
 - 11月興望館デー参加、2月こうぼうかん展覧会出品、4月興望館を例会会場に
- 4) 清泉 YMCA との支援・協働
毎月の2名程度の例会参加、2月インドスタディーツアー2名参加を支援した。
ユースコンボケーション1名推薦承認、4月清泉女子大学ガーデンパーティー訪問

3. クラブにおける問題点と対策

- 1) クラブ会員の固定化が続いている。
- 2) 地域奉仕活動が出来ていない。
対策) 余りしていません。 第2回の評議会と同じことを書いている。

4. YMCA との協働

- 1) YMCA 会員率の現状
東京北クラブの YMCA 会員率は 100%
- 2) YMCA との協働に関する活動報告
 - 12月23日(土)「クリスマスオープンハウス」 8名参加
 - 2月25日(土)「陽春の集い」 2名参加

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

認識が薄く対応が出来ていない。

12月クリスマスオープンハウス 1月 新春浅草歌舞伎

2月 陽春の集い



2016-2017 年度 所沢クラブ活動報告

会長 栗原 成晃

1. 会長主題

「次世代を担う若者と共に歩む」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

(1) ユースの報告会

1 月例会において、リーダー二人の成人祝いと、全国リーダー研修会・リーダーズフォーラムに参加したユースの報告会を開催した。参加したリーダーは 10 人でした。関東東部のユース事業主査青木メン（千葉クラブ）や、前ユース事業主査衣笠メン（埼玉クラブ）も駆けつけてくださいました。



(2) 地域の社会奉仕団体との交流会

2 月例会で地域の社会奉仕団体との交流を図るため例会に代表者をゲストとして招き、社会奉仕活動の事業内容について卓話をしていただいた。
 テーマ：〈優しさのプラットフォームフードバンク「もったいない」を「ありがとう」に〉
 講師：フードバンネット西埼玉 代表 黒田 和代 氏

3. クラブにおける問題点と対策

- ・例会等に参加できる人員が少ない点。
- ・会員増強と協力会員及びプール会員等の応援団を募る。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

会員 5 名 (62.5 パーセント)

2) YMCA との協働に関する活動報告

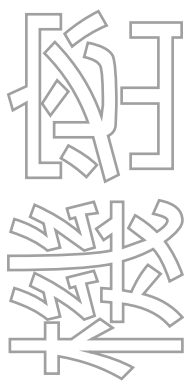
- ・『チャリティーラン』、『フェスティバル』『小手指ハナミズキまつり』への参加。
- ・狭山茶販売利益を特別支援教育支援金として献金。
- ・小関メンによる特別支援教室支援。

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・メール活用による情報の共有化を図り、速やかな決済業務を実施。
- ・活動できるメンバーが少ないのでイベントは、選別して実施。
- ・会費の有効活用を実施。

6. その他

- ・CS 事業として、狭山丘陵ウォークを実施。



2016-2017 年度 東京ひがしクラブ活動報告

会長 鮎澤 正和

1. 会長主題

「 変化と継続 クラバー丸！！ PART2 」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

- ・継続しているひがしクラブのプログラムとして3月12日に第23回ピースウォークを開催した。富岡八幡宮をスタート、YMCA東陽町センターをゴールとした約2時間半の東京大空襲の慰霊碑をめぐるコースを参加された方とともに歩き、ゴールの後はメネットの皆さんによるトン汁のサービスと戦災資料センターからお借りした東京大空襲のDVDを鑑賞し、記憶を風化させないためにも続けていくことを誓った。
- ・変化については残念ながらまだはっきりした形で現れていない。

3. クラブにおける問題点と対策

- ・会員増強が急務であるが、今期に1名の新メンバーを迎える事が出来そうである。引き続き努力をして行きたい。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

- ・会員が現状維持なので会員率も変わらない。

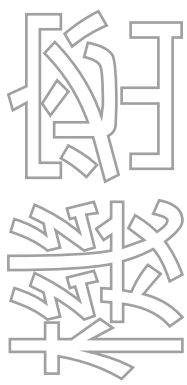
2) YMCA との協働に関する活動報告

- ・東陽町センターのプログラムである12月の「クリスマスオープンハウス」でクレープ、2月の「陽春の集い」で他クラブ、会員部の皆さんと共に餅つきと昔遊び、落語鑑賞で、地域の方々、YMCAに集う方々と交流を持つことが出来た。

5. クラブの3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・クラブとして明確な方向性はまだ出ていない。

6. その他



2016-2017 年度 川越クラブ活動報告

会長 吉野 勝三郎

1. 会長主題

「東日本区大会を成功させよう！」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

区大会の準備会を既に 16 回開催し、4 月 22 日(土)には、会場でリハーサルも行います。埼玉県内の、埼玉・所沢両クラブの全面的なサポートも得て準備を進めています。関東東部は、理事を輩出している部として、多くの方が区大会に参加されることを願っています。評議会では、申し込み状況の最新情報をお知らせする予定です。なお、当日の、講演は、いすみ鉄道の社長 鳥塚亮氏を招いています。この講演会は、入場料無料で一般公開します。

3. クラブにおける問題点と対策

区大会準備に忙殺されながらも、月例会を欠かさずに開催しています。EMC としては、知人を積極的に例会に招くよう努力しています。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

11 人中 10 名が協力会員です。

2) YMCA との協働に関する活動報告

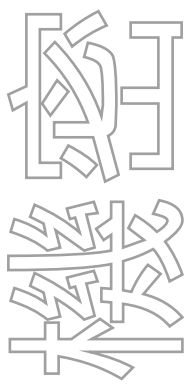
川越センターの連絡主事が正式に川越クラブに入会しましたので、YMCA との関係が今まで以上に強くなりました。

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

会員間では、ほぼメールで情報交換できるようになっています。

6. その他

次年度からは、従来のクラブの活動に注力できると思います。



2016-2017 年度 茨城クラブ活動報告

会長 稲本 修一

1. 会長主題

「ワイズを楽しもう。輪を広げよう。」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

楽しいプログラムをと思っていましたが、出来ませんでした

3. クラブにおける問題点と対策

会員の退会防止 と 増強

残念な結果とした対策も出来ませんでした

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

62%

2) YMCA との協働に関する活動報告

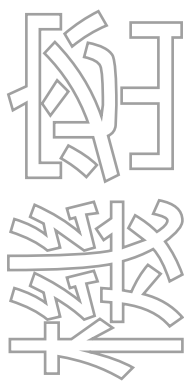
- ① YMCA ボランティア 海外派遣 に対する支援
- ② まっぴくばでのバサー
- ③ チャリティ コルフ大会
- ④ 秋のバサー
- ⑤ チャリティラン
- ⑥ 3.11 きずなバサー

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

特になし

6. その他

12月から 孫の心臓移植のための募金活動に奔走しているため
クラブの皆様には大変ご迷惑をかけた



2016-2017 年度東京ベイサイドクラブ活動報告

会長 峯岸 友彦

1. 会長主題

「焦らず細部まで確実に、楽しく全員で大胆に！」

2. 今年度の主題に対する主な活動やトピック

- ・新規 CS 事業を立ち上げるという目標を掲げ、ゴミランを事業として確立し 11 月と 1 月に 2 回実施した。



3. クラブにおける問題点と対策

- ・クラブメンバーはしののめこども園の保護者が大半を占めるが子供の卒園と共に活動が減り退会してしまう。YMCA との接点が無くなると YMCA のサポートをするボランティアとしての意義を見出すことが難しくなると考えている。対策に関しては協議を始めたところ。

4. YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状

18 名中 5 名で 28% で変わらず (2017/4 現在 2 名退会し 16 名中 5 名で 31%)

2) YMCA との協働に関する活動報告

上記 11 月のゴミラン以降は協働は行っておりません。

5. クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

Simple : 仕事や家庭のある中での活動を意識し出来る限り土日はどちらか一日での活動を心掛けている

Slim : 実働人数が限られ、各事業も確立していない現状を維持

Speed : 役員会、例会の出席率が低い中でメールと LINE を駆使し連絡を取り合う

6. その他

メンバーの退会が続き、実働メンバーへの負担が増している。メンバーごとに認識している問題点も見え始めており、クラブとしての方向性を見直す機会と捉えている。

《 2017年度狭山丘陵ウォーク 》

1. 概要

- ・日時 2017年4月8日(土) 10:00～
- ・場所 ロッジ水野の森
- ・目的 ①狭山丘陵の自然に触れて、近隣の人々と友好を深める。
②ワイズメンズクラブ、YMCA への理解
- ・会費 なし
- ・参加者 51名
- ・コース ロッジ水野の森(開会式: キャンプソング・準備体操・諸注意) ⇒ おおたかの森 ⇒ トトロの森 ⇒ 近隣農家(野菜購入) ⇒ ロッジ水野の森

2. 協力

- ・メインスタッフ 小関さん、大澤さん、栗原会長、渋谷さん
- ・サブスタッフ 埼玉クラブ(3名) 上山さん、田中さん、植田さん
里山の会6名<ピザ調理> 近隣農家の方3名<野菜販売・まんじゅう>

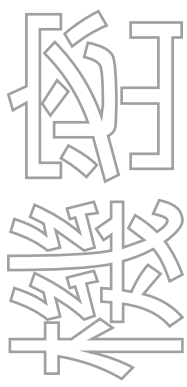
3. 会計

- ・収入(CS補助金) 30,000円 - 29,010円(支出) = 990円(残金)

支出明細 (単位円)

項目	金額	内訳
チラシ印刷代	1,480	500部
保険料 50人分	1,500	ハイキング保険
協力お礼	8,000	里山の会・野菜農家
スタッフ用ビブス	12,880	所沢クラブの名前入り
振込料	270	
ハンズフリーメガホン	3,880	
ロッジ利用料	1,000	
合計	29,010	



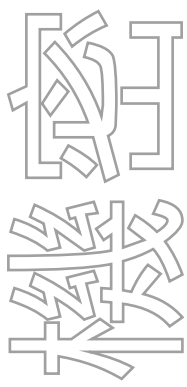


ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 3 回 関東東部評議会 協議提案書

第 1 号協議案

提案年月日	2017 年 4 月 15 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

協議案名	ユース支援金に関する部則改定に関して
提案主旨	<p>ユースの活動（IYC, AYC）などに対し他の部においては、クラブ以外に部からも部の規定により支援をしているところがあるが、関東東部ではこのような規定がなく、参加者の不平等に繋がっている。</p> <p>このため、今後、部則改定に向けて、事前ご意見をお聞かせ頂きたい。</p> <p>用語解説 IYC、AYC: 国際、アジアエリアのユース・コンボケーションの略。国際、アジアエリア大会と同時期に開催される国際的なユース事業、平和、貧困などのテーマで話し合いが行われる。 YVLF : ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラムの略。東日本区内のYMCAで活動している経験の浅いリーダーを集めて行うリーダートレーニングキャンプ。 STEP : ショート・ターム・エクスチェンジ・プログラムの略。ユースが国際経験を得るために行われる国際事業。クラブの推薦で送り出され、受入れ国のクラブの協力で行われる。</p>
提案内容	<p>部則改定案</p> <ul style="list-style-type: none">・ユース支援基金を設け、同基金内で支援を行う。基金額の上限は 5 万円とする。・支援は、申請額に応じて行うが、残金は次年度に繰り越し、次年度は 5 万円に不足する額を予算計上する。・支援金は、国内・海外共に 1 万円とするが、応募多数の場合には、基金内で等分とする。

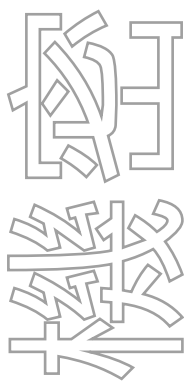


ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 3 回 関東東部評議会 協議提案書

第 2 号協議案

提案年月日	2017 年 4 月 15 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

協議案名	30 周年記念事業積立て
提案主旨	<p>20 周年記念事業費として、今年度 20 万円の特別予算を組むことができ、大変有意義に活用することができた。</p> <p>次回の 30 周年の記念事業に向けても、同様の補助金があることが望ましいが、今後も繰越金に頼ることは会計上も厳しく、健全性にも欠ける。</p>
提案内容	<p>このため、“30 周年記念部会積み立て基金”を設立し、毎年 2 万円を積み立てることで、10 年後には 20 万円の資金の備えが可能となる。</p> <p>また、積み立てを行うことで、部費に対する考えや、関東東部の一員としての意識の向上が期待できると思うが、どうであろうか。</p>

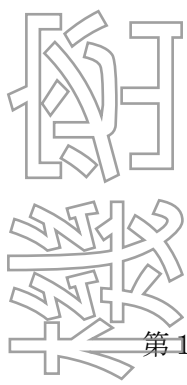


ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 3 回 関東東部評議会 協議提案書

第 3 号協議案

提案年月日	2017 年 4 月 15 日
提案者	片山 啓
役職	関東東部部長

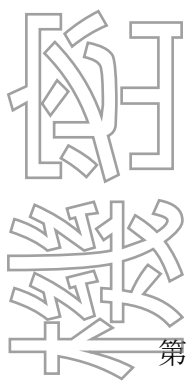
協議案名	部会員全員へのアンケートの実施
提案主旨	<p>これまで、3 回の評議会や EMC 委員会、さらに部会も含め議論を行ってきたが、今後のクラブ、部、そして区の発展のために、これらの意見の整理を進めると共に、もう少し広く会員の声聞く必要性を感じている。</p> <p>本来、クラブ訪問の際に、時間を持ち会員の声を聴きたいと考えていたが、不十分であった。</p> <p>また実際に、例会や評議会で、言いたいことを十分に部に伝えることができなかつたという意見も届いている。</p>
提案内容	<p>このため、残りの任期期間中に、関東東部の会員全員を対象としたアンケートを実施したいと考えている。テーマは、クラブや部、そして区の運営に対する広い範囲とし、以下の工程を提案したい。</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートの内容の確定（5 月上旬）・アンケートの実施（5 月上旬から中旬）・結果の速報（6 月の区大会）・結果の詳細（8 月頃の部報） <p>アンケートの内容は、部が原案を作成し、各クラブに配信し意見を求めた上で、実施する。</p>



ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第3回 関東東部評議会 議案書

提案年月日	2017年4月15日
提案者	辰馬行男
役職	東京北クラブ会長

議案名	国際ユースコンボケーション支援金補助の要請
提案主旨	東京北クラブから国際ユースコンボケーションの参加者として清泉 YMCA の平川真友美さんの推薦書を提出し承認されました。関東東部におかれましても補助をして頂けるようお願い申し上げます。
提案内容	補助金 30,000 円を申請お願い致します。

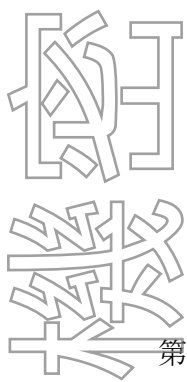


ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第3回 関東東部評議会 議案提案書

第 2 号審議案

提案年月日	2017 年 4 月 15 日
提案者	長尾 昌男
役職	関東東部次期部長

議案名	関東東部次期役員承認の件																				
提案主旨	2017-2018 年度の関東東部役員承認を依頼したい。																				
提案内容	<p>2017-2018 年度関東東部役員について、以下のご承認を頂きたい。</p> <table><tr><td>部 長</td><td>長尾 昌男 (千葉クラブ)</td></tr><tr><td>直前部長</td><td>片山 啓 (茨城クラブ)</td></tr><tr><td>次期部長</td><td>衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)</td></tr><tr><td>書 記</td><td>青木 一芳 (千葉クラブ)</td></tr><tr><td>会 計</td><td>徳永 浩一 (千葉クラブ)</td></tr><tr><td>地域奉仕事業主査</td><td>東 裕二 (所沢クラブ)</td></tr><tr><td>会員増強事業主査</td><td>金丸 満雄 (東京ひがしクラブ)</td></tr><tr><td>国際・交流事業主査</td><td>吉田 公代 (川越クラブ)</td></tr><tr><td>ユース事業主査</td><td>衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)</td></tr><tr><td>メネット事業主査</td><td>布上 信子 (東京グリーンクラブ)</td></tr></table>	部 長	長尾 昌男 (千葉クラブ)	直前部長	片山 啓 (茨城クラブ)	次期部長	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)	書 記	青木 一芳 (千葉クラブ)	会 計	徳永 浩一 (千葉クラブ)	地域奉仕事業主査	東 裕二 (所沢クラブ)	会員増強事業主査	金丸 満雄 (東京ひがしクラブ)	国際・交流事業主査	吉田 公代 (川越クラブ)	ユース事業主査	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)	メネット事業主査	布上 信子 (東京グリーンクラブ)
部 長	長尾 昌男 (千葉クラブ)																				
直前部長	片山 啓 (茨城クラブ)																				
次期部長	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)																				
書 記	青木 一芳 (千葉クラブ)																				
会 計	徳永 浩一 (千葉クラブ)																				
地域奉仕事業主査	東 裕二 (所沢クラブ)																				
会員増強事業主査	金丸 満雄 (東京ひがしクラブ)																				
国際・交流事業主査	吉田 公代 (川越クラブ)																				
ユース事業主査	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)																				
メネット事業主査	布上 信子 (東京グリーンクラブ)																				

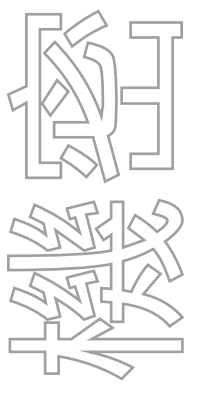


ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
2016-2017 年度
第 3 回 関東東部評議会 議案提案書

第 3 号審議案

提案年月日	2017 年 4 月 15 日
提案者	長尾 昌男
役職	関東東部次期部長

議案名	次期の東日本区代議員の人数と選出の件
提案主旨	東日本区定款に準じて 次期の東日本区代議員の人数確認と代議員選出を行いたい。
提案内容	東日本区定款第 6 条第 5 項より、2016-2017 年度関東東部部長の片山 啓氏 1 名を東日本区代議員に選出したいのでご承認を頂きたい。 ＝東日本区定款＝ 第 6 条 代議員会 第 5 項 人数割り代議員の人数は、就任する年の 1 月半年報による部の 会員数で、100 名まで 1 名、以降 100 名増すごとに 1 名を加算する。 人数割り代議員のうち 1 名は直前部長とする。



添付資料

170412

卓話奉仕者リスト

	クラブ名	お名前	卓話テーマと概要
1	茨城クラブ	片山 啓	「我が国の海外援助業務の実際」あまり知られていない海外での国際援助業務の苦労話 「橋の世界」海外を中心にした橋梁や国内の橋に関する話題 「小さい教会で育って」高校生まで家族と共に小さい教会に通っていた頃の苦労と感謝 「YMCAリーダー時代の思い出」鎌倉YMCAで出会った子供たちやリーダー、YMCAスタッフのお話
2	千葉クラブ	青木 一芳	卓題 易しい数のはなし 内容 大きな数、小さな数、素数には限りがない、おもしろい数列、など。 卓題 易しい図形のはなし 内容 地図の塗り分け、路線図を読む、配線問題、スプラウト必勝法、など。
3	川越クラブ	今西 洋太	卓題 世界のワイズさまざま 内容 韓国のワイズ、インドのワイズ、北欧のワイズ、など。 学生時代、埼玉YMCA川越センターのボランティアリーダーとして大いに活躍した。アメリカのYMCAのキャンプ場へ2回行く。卒業後、日本市場の開拓期のスターバックスに入社し、現在は、日本人の本社に勤務。
4	所沢クラブ	大澤和子	「学童期の学習支援とその実際」～小学生の子どもたちの発達をしり、学習支援の仕方を考え る。「子どもの心理と支援の在り方」～子どもを取り巻く大勢の大人たちに知ってほしい子ども の気持ち。 「生きづらさを抱える子どもたちとのかかわり方」～不登校やいじめ、学習障害などの子ども の生きづらさを知り、かかわり方を知る。 ソーシャルスキルトレーニング「自分を大事にする」～自分もOK 相手もOK のスキル練習
5			

第6回 ワイズメンズクラブ東日本区 主催 Wake Up Japan 協力

オープン・フォーラム・Y

参加者一人ひとりが現場の人の声を聞き社会的課題を自分のこととして認識し、新たな一歩を踏み出す

日時 2017年5月14日(日)10:00-19:00(開場 9:30)
 場所 藤井産業 東京支店(東京都千代田区内神田1-2-10 羽衣ビル3階)
 対象 社会問題の解決に関心のある高校生、大学生、及び若手会社員
 定員 30名
 参加費 高校生 100円/大学生 500円/若手会社員 1,000円

時刻	時間	セッション名	特記事項
09:30-10:00	30分	開場、受付	
10:00-10:30	30分	開会式、アイスブレイキング	
10:30-12:00	90分	オープニングセッション 東南アジアの難民の方 長川美里さん(東アジア共生) 人妻和子さん(学習支援)	社会問題に関するパネルディスカッション 問題解決に対する思い 問題の構造的な要因 構造的に解決していくためにユースどう働きしていくか
12:00-13:00	60分	ランチ、別行事	1ピクettにてテーブルを併用し、話し合いを行う。
13:00-13:30	30分	食休み	食後のセルフケアの時間。
13:30-14:20	50分	社会問題の解決方法と若者	Wake Up Japan 熊本より、社会問題の解決方法と若者をテーマにした講演と質疑応答
14:20-14:30	10分	イントロダクション	午後の分科会の紹介
14:30-15:45	75分	分科会セッション	大塚和子さん(一人ひとりに寄り添う学習支援) 妻谷しのぶさん(障害者参加による教材開発等と法) 他
国内外の社会問題に対する理解やその問題解決を目指すうえでスキルトレーニングなど、参加者が興味のある分科会を自由に選んで参加することが可能です。			
15:45-16:00	15分	休憩	
16:00-18:00	120分	Insiderence 【オープンディスカッション】	社会を変えていくためにというテーマで、参加者が話し合い たいトピックを発表して分かれて話し合いを行います。 15分(説明トピック紹介) 30分(話し合い)⇔20分(共有トピックなし) 30分(話し合い)⇔20分(共有)
18:00-18:40	40分	クロージング・ワークショップ	
18:40-19:00	20分	閉会式	感想の共有と閉会の言葉

お申込

お申し込みは5月10日までにお願いします

お名前	<input type="text"/>	所属	<input type="text"/>
連絡先	<input type="text"/>		
申込先	メール: lookubo@hh.fujii.co.jp FAX: 020 662 6063		



ワイズメンズクラブは、青少年育成団体である「YMCA」の活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。

<https://wv-east.iimdo.com/>

ワイズメンズクラブ国際協会 第20回東日本区大会記念講演(一般公開)

鳥塚 亮氏 講演会

ローカル線を救う おもてなし

～危機を乗り越え、地域を元気にする方法～

2017年 **6月3日(土)**

16:00～17:30 (開場15:30)

15:30 開場

16:00 講演会

17:30 終了

入場無料
申込不要

会場 **ウエスタ川越大ホール**

- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分

<本川越駅よりバスをご利用の場合>

- ◎西武バス乗り場 ①番
 - *新所02、本55 系統「川越駅西口」下車 徒歩5分
 - *本53、本54 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ
- ◎西武バス乗り場 ②番
 - *川越35、川越35-1 系統「ウエスタ川越前」下車 すぐ

地図



問い合わせ **埼玉YMCA川越センター**
TEL 049-226-2491
mail kawagoe@ymcajapan.org



とりづか あきら
鳥塚 亮氏

肩書: いすみ鉄道株式会社 代表取締役社長

趣味: スーパーマーケットめぐり、ドライブ、線路歩き

略歴: 1960年(昭和35年)6月 東京生まれ

子供のころから乗り物好き。

新幹線の運転士になるのが夢だったが、国鉄赤字による採用中止で断念。

大学在学中から航空機の操縦訓練を受け資格取得。

ところが航空不況で操縦士としての採用もなく、学習塾講師を務める。

27歳の時大韓航空入社。成田空港勤務。

30歳でブリティッシュエアウエイズ(英国航空)入社。

20年以上にわたり一貫して成田空港で、旅客、運航部門勤務。旅客運航部長。

在職中、32歳で鉄道DVDを制作する有展会社パシナコーポレーションを設立。

現在まで21年間、電車の運転席から前方の風景を撮影した前面展望ビデオを制作出版。

DVDの本数は通算600タイトルを超え、日本で一番数多くの鉄道ビデオを販売している。



ワイズメンズクラブは、各地で活動する、世界最大のNPO/NGOであるYMCAを支援するボランティア団体です。

日本では、1928年、大阪に日本初のワイズメンズクラブが設立され、現在日本には、144クラブ、2,500人の会員を擁しています。

今回の川越大会は、日本区が東と西に分かれてから20回目となります。昨年は、長野市で大会が開かれました。

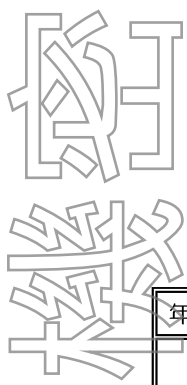
主催: 川越ワイズメンズクラブ

後援: 川越市・川越商工会議所・(社)小江戸川越観光協会

(公財)埼玉YMCA

2016-2017 年度 東日本区役員および委員長等一覧

		役 職 名	氏 名	クラブ名
東日本区役員	常任役員	理事	利根川 恵子	川越
		次期理事	栗本 治郎	熱海
		直前理事	渡辺 隆	甲府
		書記	山本 剛史郎	川越
		会計	吉田 公代	川越
	事業主任	地域奉仕事業主任	加藤 博	熱海グローリー
		会員増強事業主任	菊地 弘生	仙台青葉城
		国際・交流事業主任	太田 勝人	東京世田谷
		ユース事業主任	大久保 知宏	宇都宮
	部長	北海道部部长	山本 雅之	十勝
		北東部部長	長岡 正彦	もりおか
		関東東部部長	片山 啓	茨城
		東新部部長	細川 剛	東京
あずさ部部長		浅羽 俊一郎	東京山手	
湘南・沖縄部部長		若木 一美	横浜とつか	
富士山部部長		増田 隆	富士	
監事	監事	駒田 勝彦	甲府21	
	監事	久保田 貞視	東京八王子	
委員長	常置委員会	文献・組織検討委員会委員長	宮内 友弥	東京武蔵野多摩
		LT 委員会委員長	伊藤 幾夫	東京コスモス
		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	村杉 克己	東京北
		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	利根川 恵子	川越
		東日本区事務所人事委員会委員長	栗本 治郎	熱海
	事業委員会	地域奉仕事業委員会委員長	加藤 博	熱海グローリー
		EMC事業委員会委員長	菊地 弘生	仙台青葉城
		国際・交流事業委員会委員長	太田 勝人	東京世田谷
		ユース事業委員会委員長	大久保 知宏	宇都宮
		メネット委員会委員長	相磯 優子	沼津
	特別委員会	東日本大震災支援対策本部本部長	利根川 恵子	川越
東日本区定款改訂委員会委員長		辻 剛	横浜つづき	
専任委員等	ヒストリアン	仙洞田 安宏	甲府	
	ITアドバイザー	大久保 知宏	宇都宮	
	トラベルコーディネーター	長澤 山泰	東京	
	広報・伝達(PR)選任委員	吉野 勝三郎	川越	
理事事務局	理事事務局長	吉野 勝三郎	川越	
東日本区事務所	東日本区事務所長	利根川 恵子	川越	
	東日本区事務所職員	小山 憲彦	東京サンライズ	
	連絡主事	光永 尚生	三島	
	次期書記	大川 貴久	熱海	



2016-17年度 東日本区行事予定表

2016/1/6現在

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区	国際・YMCA
2016	7	キックオフ YMCAサービス ASF RBM	9 第1回役員会 10 各クラブ前期半年報提出(部長まで) 15 部長は半年報を纏め、会員増強事業主任へ 31迄 前期請求書発送		
	8	CS	15 前期区費納期	27 北海道部会	1-7 国際ユースコンペーション(台北) 4-7 国際大会(台北) 8 アジア地域議会(台北)
	9	ユース	9-11 ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム	17 北東部部会 25 富士山部会	国際議員推薦 国際会長候補者推薦
	10	EMC/E YES	29 次期部長・事業主任研修会	1-2 湘南・沖縄部会 8 東新部会 15 関東東部部会 22 あずさ部会	国際半年報 8-10 日本YMCA大会 9 東山荘新本館献堂式
	11	ワイス理解 ファミリーファスト	5 第2回役員会 10 ワイズデー		
	12	EMC/MC	8 祈りの輪		9-11 アジア太平洋地域・韓国地域 合同RDEトレーニング(バンコク) 11-12 アジア地域年央会議(バンコク) 国際役員投票
2017	1	BC/DBC	10 各クラブ後期半年報提出(部長まで) 15 部長は半年報を纏め、会員増強事業主任へ 31迄 後期請求書発送		国際役員投票スイス必着
	2	TOF	4-5 第2回東西ワイス交流会(東山荘) 15 後期区費、各種献金、BF使用済み切手納期		
	3	BF メネット	4-5 次期クラブ会長及び 次期部役員研修会 10 代議員会告示		
	4	LT	7 代議員会議案締切 8-9 第3回役員会	東西理事連絡会議	国際半年報
	5	EF/JEF	2 代議員会議案送付 15 JEF イトリ-締切		
	6	評価	2 第4回役員会(川越) 3 代議員会(川越) 3-4 第20回東日本区大会(川越)	10-11 西日本区大会(熊本市)	17-18 日本YMCA同盟協議会

関東東部部則

第1章 総 則

第4条 名 称

この組織は、ワイズメンズクラブ国際協会（以下国際協会と称する）東日本区関東東部（以下「部」と称する）と称する。

第2条 目 的

第1項 この部則は、関東東部所属の各クラブが一層の活性化と発展をしていく為、部の組織及び運営について定めたものである。

第2項 この部則に定めのない事項については、国際憲法、東日本区定款の定めるところによる他、従来 of 慣習を参考にし検討することにする。

第3条 改 訂

この部則の改訂は、部評議会の議決による。

第2章 組 織

第4条 部の構成

部は、国際協会に所属するワイズメンズクラブをもって構成される。

第5条 部の役員

部役員 of 構成は、部長、次期部長、直前部長、書記、会計及び事業主査とする。但し、部長が必要と認められる場合は、部評議会の承認を得て新たに役員を設けることができる。

第6条 次々期部長、部書記、部会計、事業主査、部選出代議員の選出

第1項 次々期部長の選出

次々期部長の選出は、A、B、C of グループの輪番制で、各グループの推薦を受け、部長就任一年以内に開かれる部評議会において次々期部長を決定する。なお、次々期部長として立候補または推薦があった場合は、現部長と次期部長とが協議し部評議会に諮り決定する。

第2項 部書記、部会計及び事業主査の選出

次々期部長が次期部長になった後、次期の部書記、会計及び事業主査を指名し、部評議会の承認を得て就任する。

第3項 部選出代議員は、部長及び直前部長が評議会の承認を得て就任する。

第7条 部役員 of 任期

部役員 of 任期は、毎年7月1日から翌年の6月30日迄とする。

第8条 部役員 of 任務

第1項 部長 of 任務

(A) 部長は、部の運営責任者であり部書記、部会計及び部事業主査を任命し、理事及び事業主任と連絡を密にし、部の一般行政及び財政を執行する。

(B) 部長は、部で行う諸事業について各事業主査に協力し、適切な指導をする。

(C) 部長は、その任期中少なくとも1回は、部内の各クラブ of 例会や役員会に出席して、その実態を把握し、活動を励まし助言を与える。

(D) 部長は、部内の親睦、情報の交換、クラブ会長の研修などの成果を上げることを目的として、部会、研修会を各々年1回以上、部評議会を年2回以上開催し、議長を務める。

(E) 部長は、部内に新しいクラブを誕生させるため、スポンサーとなるべきクラブを励まし、部の発展に寄与する。

第2項 部書記 of 任務

(A) 部評議会、部役員会等 of 議事録をとり、印刷し、各構成メンバーに配布する。

(B) 部内 of 理解を深める為にも、東日本区並びに部内 of 情報等をまとめ、年2回以上部報を発行し、部内メンバーに配布する。

(C) 部として必要な文書を常に整備保管しこれを年度末に次期部書記に引き継ぐ。

第3項 部会計 of 任務

(A) 部 of 収支予算を編成し、部評議会の承認を得る。

(B) 部経常会計 of 全般を統括し、整備記帳する。

(C) 会計年度（毎年7月1日から翌年6月30日迄）終了後、会計報告を作成し、その次の部評議会で承認を得る。

(D) 次期部長 of 予算編成に協力する。

第4項 次期部長、直前部長 of 任務

ともに部長を補佐し、必要とされる時は部長 of 任務を代行する。

第9条 事業主査の選出と任務

第1項 各事業主査は、部役員会が必要とする事業部門ごとに部長が任命し、部評議会の承認を経て就任する。

第2項 各事業部門の活動は事業主査の指導により推進される。

第3項 第1項、第2項に定める事業部門については別に定める。

第10条 担当主事

クラブの担当主事は部会、評議会及びその他会合に随時陪席することができる。

第3章 運営

第11条 部評議会

第1項 部評議会は部内の最高議決機関であり、部長の召集により毎年2回以上開催する。

第2項 部評議会は、部長、次期部長、直前部長、部書記、部会計、クラブ役員（会長、副会長1名、書記1名、会計1名）、及び事業主査をもって構成し、部長は議長に就任する。

第3項 部評議会は構成メンバーの半数以上（委任状を含む）の出席をもって成立する。
又、議決は出席者の過半数をもって決し、賛否同数の場合は議長が議決に加わる。

第4項 クラブ代表の議決権は、会長・副会長・書記・会計の各1名とし、委任状も同様とする。

第5項 部評議会の議決を要する事項は次のとおりである。

イ. 部則の改訂、諸規定及び特別委員会の設置・変更・廃止。

ロ. 次々期部長の選出、並びに部長の指名した部事業主査、部書記、部会計の承認。

ハ. 特別委員会委員長及び委員の承認。

ニ. 部事業計画、及び部費、部会負担金など部収支予算の決定並びに変更。

ホ. 部事業報告及び部収支決算書の承認。

ヘ. 役員会その他の協議機関からの答申に基づく審議承認。

ト. その他、部長又は評議会が必要と認める事項。

第6項 部の書記、会計、事業主査及び特別委員会委員長は部評議会に出席し、議長の指名により報告及び答弁を行う義務を負う。

第12条 役員会

第1項 役員会は部長が必要と認める時にその都度召集し、部の運営について審議する。

第2項 役員会の審議結果は次の部評議会に報告し、承認を得る。

第13条 特別委員会

第1項 委員長によって委員会は召集され、委員長が議長となり審議を行う。

第2項 特別委員会の審議結果は次の部評議会に報告し、承認を得る。

第14条 部会

第1項 部会は部長の召集により、部所属メンバーの研鑽と親睦を目的として年1回開催する。

第2項 部会のホストクラブは部会準備委員会を設け、部長の指導のもと協議を重ね、部会開催のすべてを運営する。

第3項 ホストクラブは、部所属メンバー全員が均等に負担する部会補助費及び部会出席者の参加費をもって部会の一切を賄い、部会終了直後の部評議会において会計報告を行う。

第15条 公式訪問

第1項 部長が各クラブを公式訪問するときは、クラブ会長へ事前に訪問の日程及び目的を示して行う。

第2項 公式訪問に際しては、原則として役員が随行する。

第4章 会計

第16条 会計年度

会計年度は毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終わる。

第17条 財政

部の財政は、部所属各クラブが人数割りに負担する部費、及び東日本区よりの助成金によって賄われる。

第18条 予算

部の収支予算は部会計が編成し、年度初めの部評議会に提出し承認を得る。

第19条 収支決算の承認

収支決算報告書は、会計年度終了後ただちに作成し、その次の部評議会（新年度第1回目の評議会）にて承認を得る。なお会計監査は、直前部長が行うこととする。

第20条 収支決算報告書

部評議会に於いて承認された部の収支決算は、次年度部報第1報に掲載することをもって部所属メンバーへの報告とする。

第5章 細 則

第21条 細 則

部の組織、運営について、この部則に定めのない場合は、細則を設けることができる。

1997年7月1日制定施行
2002年11月10日改訂
2003年7月1日改訂施行
2015年11月14日改訂施行

関東東部施行細則

1. 総 則

- (1) この細則は、部則を一層適正に運用するために定めるものである。
- (2) この細則の改訂は、部評議会の議決による。

2. 次々期部長の選出

- (1) 従来輪番制であった部長の選出を、グループ制に移行し順次選出する。ただし、立候補または推薦があった場合は、評議会にて承認された者を選出する。
- (2) グループ分けは、以下の3グループとする。
Aグループ：千葉、東京グリーン、東京北
Bグループ：埼玉、所沢、川越
Cグループ：東京江東、東京ひがし、茨城、東京ベイサイド

3. 部 費

- (1) 部費はメンバー1名につき年額2,000円とする。
- (2) 部費は8月31日迄に部会計に納入、又は部会計が指定する部口座に振り込む。

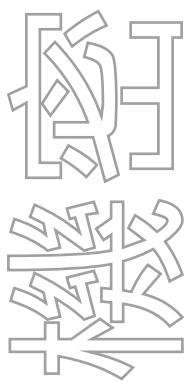
4. 部会補助費

- (1) 部会補助費はメンバー1名につき年額1,000円とする。
- (2) 部会補助費は8月31日迄に部会計に納入、又は部会計が指定する口座に振り込む。

5. 事業部門

- (1) 部則第9条第3項の定めによる事業部門は次の通りとし、各事業部門において事業主査をもつ。
 - 1) 地域奉仕事業主査
(担当事業・YMCAサービス/CS/ASF)
 - 2) 会員増強事業主査
(担当事業・EMC/PR)
 - 3) 国際・交流事業主査
(担当事業・BF/EF/IBC/DBC/TOF)
 - 4) ユース事業主査
(担当事業・YEPP/STEP/YIA)
 - 5) メネット事業主査
 - 6) 東日本区ワイズ基金(JEF)の呼びかけについては部長直轄とする。

1997年7月1日制定施行
2002年11月10日改訂
2003年7月1日改訂施行
2003年11月15日改訂
2004年7月1日改訂施行
2015年7月25日改訂施行
2015年11月14日改訂施行



関東東部CS事業資金管理・運用規定

部内各クラブから、部会計へ納付されるCS献金(会員1名あたり1,250円)は、次の規定によって管理・運営する。

1. 部内各クラブから納付されるCS献金を原資として、「関東東部CS事業資金管理運用委員会」を組織し、それは部長、部書記、部会計、地域奉仕事業主査で構成する。
2. 部内の各クラブが、単独あるいは共同で行うCS事業に関して、その事業費の援助申請が出たとき「関東東部CS事業資金管理運用委員会」に諮って、援助が望ましいと判断されたときに支給する。
3. 資金援助を希望するクラブは、CS事業資金援助申請書に替えて、事業計画書を部長に提出する。計画書には、①事業名称とその内容 ②実施予定日 ③予算案(総額)を明示する。
4. 支給の決定にあたっては、事業内容の他に、そのクラブが区や部に対して最小限の義務を果たしているかを、判断基準の一つとする。
5. CS事業援助金支給の基準は、新規事業は上限50,000円、継続事業は2年間で限度として上限30,000円とし、当年度CS献金総額を超えない範囲で支給する。
6. 支給を受けた事業に関しては、実施後直ちに詳細を部長に報告しなければならない。その事業が長期にわたる場合は、年度末に中間報告として部長に報告しなければならない。
7. 部が支給を決定した事業は、直ちに全てのクラブに発表し、その事業に対してできるだけ多くのクラブが協力するよう心掛けるものとする。
8. CS事業資金は、一般会計とは別に管理し、残額が出た場合は次期に繰り越すこととする。(原則として他の資金に流用してはならない)
9. この規定は、2010年7月17日の第1回関東東部評議会の議を経て制定され施行する。

1997年7月20日 制定施行
2010年7月17日 改訂施行

飯
糺
糺

